



ふるさとづくり運動にまい進

あすの福井県を創る運動表彰受賞

5月24日、あすの福井県を創る協会総会がユー・アイふくいで開催され、その席上で、あすの福井県を創る運動功労者及び団体として、南越前町では井上修氏と南条生活学校及び漁火太鼓保存会が表彰を受けました。



知事表彰(個人) 井上修氏(鯖波・80歳)



昭和63年に「住みよい鯖波を創る会」を結成。その後、故郷の歴史をまとめようと、古文書などの資料集めから編集などの中心となり「伝承物語さばなみ」を平成3年に発刊。同時に「南条町古文書を読む会」を結成、さらに研究を進

め、続編と(別冊)敦賀県時代を発刊するなど、地区の歴史や風習の保存に熱心に取り組まれました。また、長年にわたり町の各種委員を務め、積極的に活動。地域リーダーとして生涯学習、まちづくりの推

進に大きく貢献されました。ひごとく 18年間、鯖波の物事を研究、中でも集落に伝わる豊富な古文書は、江戸時代末期から明治維新初めの、地方自治への村づくりの努力がわかる貴重なもの。新しい知識や見解を得ることもでき、正しい伝承物語として後世に伝えることができると思っています。

協会長表彰 南条生活学校 平澤 姫尾会長



昭和63年、健康と環境問題に取り組むとその活動を開始。以来、EM園による自然農法の推進や様々な活動で環境美化や、日常生活の向上に努め、特に平成5年から取り組んだペットボトルの回収運動では、地域住民のリサイクル意識の向上に大きく貢献されました。現在も身近な問題を取りあげ日々学習、積極的に活動に取り組んでいます。

協会長表彰 漁火太鼓保存会 大浦 真紀子会長



漁火太鼓は昭和45年頃、河野、今泉地区の若者達で太鼓指導や演奏活動を開始。その後、同地区の女性達が活動を引き継ぎ、保存会を結成。村外での老人ホームや養護施設・各種イベントに慰問・出演し、太鼓演奏の楽しさや、旧河野の観光PRなど積極的に活動し、ふるさとづくり推進に取り組んでいます。

スポーツの結果

河野地区体育協会会長杯

軟式野球大会

■期日 5月8日(日)

■場所 桜橋総合運動公園

■参加チーム 5チーム

優勝 荒波

準優勝 オ・サンダース

第10回南条地区

ゴルフ協会会長杯大会

■期日 5月15日(日)

■場所 武生カントリークラブ

■参加者 24人

優勝 岩倉光弘(上野)

グロス ハンディ ネット

(93) 20・4 72・6

準優勝 高木長久(脇本)

グロス ハンディ ネット

(89) 15・6 73・4

3位 玉村幸一(西大道)

グロス ハンディ ネット

(105) 31・2 73・8

ベストグロス賞

杉本昌幸(鏑物師) 88

河野地区体育協会会長杯

ゴルフ大会

■期日 5月25日(水)

■場所 武生カントリークラブ

■参加者 32人

優勝 林 満弘(上野)

準優勝 大坂繁美(甲楽城)